

# 京都市の中3、30人学級

京都市教育委員会は6日、来年四月から市立中学校三年生の学級定員を現行の四十人から三十人に減らす方針を明らかにした。高校への進学など進路選択を控えた生徒によりきめ細やかな指導を行う狙いで、中学三年への「三十人学級」導入は全国の都道府県や政令市で初めてだという。

六日の市議会普通決算特別委員会の市長総括質疑で、榎本頼兼市長が答弁した。

市教委によると、来春に市立中学七十五校のうち三年の二学年が三十人に満たない小規模校を除く六十四校で三十人学級を導入する。

試算では、中学三年の総学級数は四十人学級を維持した場合よ

## 市長表明 来春から

り、八十三学級増える見込み。国と都道府県が人件費を負担する教員数は四十人学級を基本にしており、学級数の増加で必要になる教員は、市の費用で常勤講師を採用する。

市がすでに実施している小学校一、二年生の三十五人学級では、八十人の講師雇用に年間約三億四千万円を充てており、「同じ規模の予算が必要になる」（教職員人事課）という。

榎本市長は「二〇〇七年度までの三十人学級導入」を前回の市長選の公約に掲げていた。中学三年への導入は「進路選択に向けて学習指導を充実させてほしい」という保護者や校長会などからの要望もあったため（同課）という。

# 進路指導手厚く 都道府県 政令市で初

## 受験指導細やか 中3に30人学級

京都市教委、来年度から

京都市教委は6日、全市立中学校の3年生で来年度から、30人学級を導入することを明らかにした。高校受験に向けたきめこまかな指導がねらい。中学校での30人学級の導入は政令市で初め

て、全国的にも珍しいとい

い。市教委によると市の独自予算で常勤講師を任用し実現させる。榎本頼兼・京都市長は、同日の特別委員会総括質疑で答弁に立ち「義務教育の最終段階で、一人一人の生徒に焦点をあてた指導の充実を考えた」と述べた。

現行の40人学級との比較では、30人学級の導入により、全市立中80校で計83学級が増える見込み。

京都市では、市立小学校の1・2年生で35人学級を導入している。

18年12月6日 産経新聞夕刊

18年12月6日 毎日新聞夕刊

## 京都市 30人学級導入

政令市初 市立中3全クラスで

京都市は6日の市議会です、市立中学3年の全クラスで来年度から30人学級を導入することを明らかにした。中学への30人学級導入は政令市では全国初。

市教委によると、市立

中75校のうち、1クラスに30人以上の生徒がいる64校を導入する。これにより、83クラスが増加するといふ。1クラスあたりの生徒数は平均で8人減少し27・2人となる。不足する教員は年間契約

の常勤講師を新たに採用して対応する。

秋田・福島両県では1・2年生で既に導入しているが、同課は「進路問題などを抱える子供たちにきめ細やかな指導を行うため、3年生への導入を決めた。PTAなどを通じて親からの要望も高かったとしている。」

【小川 信】

# 京都市立中

# 3年生 来春から30人学級

## 政令市初、全校を対象

京都市教育委員会は6日、すべての市立中学校で来春四月から、三年を三十人学級にするを公表した。政令指定市では初めてという。

市教委によると、市立中七十五校のうち既に三十人を下回っている学校を除く六十四校を対象。八十三学級増えるため、常勤講師を市の独自予算で採用する。

市は二〇〇三年度から小学校一、二年に三十五人学級を導入。八十人の講師を採用し、人件費などに年間約三億四千万円を充てている。今回も新

たに回覧帳の予算が必要。「進学を控えた中三の指 導を充実させてほしい」という保護者の要望に応えたいとしている。

# 京都市 30人学級導入

京都市は6日、全市立中学80校の3年生について、来年度から一律30人学級（現在40人）を導入することを明らかにした。高校受験を控えた義務教育の最終年度と認め細かな指導を行うのが狙いで、政令市が公立中学校で30人学級を導入するのは初めて。

## 中3進路指導充実

本報編集局長が同日の市議会で「学習や進路などの指導を充実のため、来春4月から市の独自予算で実施すること

市教委によると、来年度の中3生は約1万人。30人学級の編成で、学級数は現在

在り83学級多い38学級になる見込み。1学級の平均生徒数は35・1人から27・2人に減り、生徒に負担が少なくなるという。

学級数の増加に伴う新たな教員の確保は常勤講師の任用

で申し、人件費は最大で年約3億5000万円増となるが、市費で負担する。市教委は「中3は進路指導の決め手となる学年。いじめや不登校の問題にも対応できると、少人数学級できめ細かく指導したい」としている。

文部科学省によると、中学校で30人学級を導入しているのは秋田山形福島3県。同省財務課は「進学指導を担った最終学年での導入は珍しい。どんな効果があるか見守りたい」としている。